

平成 22 年度スキルアップ経費報告 ーデジタル写真に関する環境整備ー

電気電子・情報系技術班 宮田 晃

1. 背景・目的

Web ページ、パンフレット等の作成や各種記録において、写真を用いる機会は多い。かつて写真といえば銀塩フィルムを用いたものであったが、現在ではそのほとんどがデジタルカメラによるデジタル写真に置き換わった。しかしその基本的な撮影技術等は、フィルムとデジタルで共通する部分も多い。

近年のカメラは、露出の決定やピント検出、手ぶれ補正等の高度な機能を簡単なオペレーションで使用できるようになっており、写真の撮影においては、多くの場合カメラにまかせっきりのケースが多いように見受けられる。しかし、撮影時、また撮影後の画像処理時のちょっとした工夫如何で、写真のできればはかなり左右される。

写真に関する技術は、ある程度の経験を必要とする部分もあり、そのノウハウを蓄積し次の世代に伝えていくことは意味あることだと考えられる。

本プロジェクトの目的は以下の通りである。

- デジタル写真作成に必要な一連のハードウェア、ソフトウェアを揃え、環境を整える。
- 画像処理ソフトウェアにより、写真のイメージをコントロールし、さまざまな意図に対応できる写真を得る技術の習得をめざす。
- 申請者のこれまでの写真に関する経験と、本プロジェクトで得た画像処理のノウハウを公開し、技術職員が今後デジタル写真を使用する際の一助とする。

2. 実施内容

当該経費により以下の物品を導入し、デジタル写真に関する環境を整備した。

- デジタルカメラ Nikon D90 レンズキット (18-105mm f/3.5-5.6G ED VR)
- スピードライト Nikon SB-600
- リモートコード Nikon MC-DC2
- SD メモリーカード 2GB
- カメラバッグ Lowepro シーラス 140
- 画像処理ソフトウェア Adobe Photoshop Elements 8

3. グループ研修の実施

平成 23 年 3 月 3 日 (木)、技術部室において、グループ研修「デジタル写真に関する技術向上」を実施し、部分聴講を含む 10 名の参加を得た。

写真技術の基礎、デジタルカメラの特性、ソフトウェアによる画像処理の基礎等の講義ならびにデジタル写真の撮影および画像処理の実習を通し、目的にあったデジタル写真を得るための自分の持つノウハウを伝え、加えて参加者との質疑応答を通して、それらをより深めることができた。

謝辞：本経費の導入にあたりご尽力いただいた関係各位に感謝申し上げます。